

## 新規受託項目のお知らせ

拝啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。  
平素は格別のお引き立てを賜り厚く御礼申し上げます。  
このたび、下記検査項目を新たに受託開始しますので、  
ご利用いただきたくご案内いたします。

敬具

### 記

- 受託開始日 2021年5月31日(月) ご依頼分より
- 新規項目内容

項目コード	検査項目	検体量 (mL)	容器	検査方法	所要日数	基準値 (単位)	備考
8673	SARS-CoV-2 (新型コロナウイルス) IgG S	血清 0.5	S1	CLEIA	2~4	1.0 未満 陰性 (-) (AU/mL)	不活化(非働化)検体では検査値に影響を及ぼす場合がありますので避けてください。 SARS-CoV-2スパイク(S)タンパク質の受容体結合ドメイン(RBD)に対するIgGを測定する定量検査です。

※Sタンパク質に対する抗体検査は、ワクチン接種前の免疫状態の確認およびワクチン接種後の免疫応答の定量測定などの使用が期待されています

## ● SARS-CoV-2 (新型コロナウイルス) IgG S

スパイク蛋白質のRBDに対するIgG抗体を測定する定量検査です。

---

新型コロナウイルス (SARS-CoV-2) は、スパイク(S)、エンベロープ(E)、メンブレン(M)、ヌクレオカプシド(N)の4種類の構造タンパク質で構成されています。コロナウイルスに特徴的な表面の突起を形成するSタンパク質には、ヒト細胞に感染する際に不可欠な受容体結合ドメイン (RBD) が存在しています。RBDが、ヒトの呼吸器や粘膜の上皮細胞表面に存在するアンジオテンシン変換酵素 2 型 (ACE 2) 受容体と結合することで、ウイルスは宿主細胞に侵入します。

SARS-CoV-2ワクチンは、Sタンパク質特異的に免疫反応を誘発するよう設計されているものが多く、Sタンパク質に対する抗体検査は、ワクチン接種前の免疫状態の確認およびワクチン接種後の免疫応答の定量測定などの使用が期待されています。

本検査は、富士レビオ社の研究用試薬「SARS-Cov-2 S-IgG測定試薬 (IB) 」を用い、検体中のSARS-CoV-2Sタンパク質のRBDに対するIgG抗体を定量的に測定する検査であり、定量値と判定結果をご報告いたします。

### ● 留意事項

- 1) 富士レビオ社の研究用試薬「SARS-Cov-2 S-IgG測定試薬 (IB) 」を用いた検査項目です。
- 2) 研究検査項目のため、診断目的に使用することはできません。